



熊谷 寿人
水曜会
(50分)

子どもの医療費助成制度の現状は

問 ①本市の助成対象年齢は。②備後圏域5市2町の状況は。③「子どもの医療制度の在り方等に関する検討会」の議論の内容は。④国保に対するペナルティーについては。

答 ①通院は就学前まで、入院は小学生までが対象。

②通院は小学生までが1市、中学生までが5市町、高校生までが1町。入院については中学生までが6市町、高校生までが1町である。③子どもの医療費については、統一的な基準を示す必要がある。また、国民健康保険の国庫負担のペナルティーについては、早急に見直すべきとの意見がある。④乳幼児医療費助成をはじめとする福祉医療の助成制度による本市への影響額は、約9200万円(平成26年度決算)である。



連石 武則
水曜会
(60分)

活力ある産業づくりと防災について、市長の考えを問う

問 ①選挙公約の福山北産業団地Ⅱ期工事の着工は。②福山沼隈道路の今後の予定は。③福山リサイクル(RDF)発電事業の今後の方向性は。④「防災先進都市福山」実現の方策は。

答 ①平成21年策定の基本計画を修正し、事業費の見直し等を今年度中に行う。

②芦田川右岸側の橋梁下部工および瀬戸町の改良工事等に着手し、引き続き、早期完成に向けて国、県と連携していく。③平成35年までの事業延長を考えている。新たな処理施設体制の構築に向けた整備計画は審議会の議論を踏まえる中で策定していく。④特に共助を強化することで、自助、共助、公助の効果的な連携を実現し、防災の効果を高める。



喜田 紘平
水曜会
(50分)

教育行政・子どもたちへの支援体制は

問 ①本市独自の留学制度の創設内容は。②学校再編についての考えは。③学校の耐震化は。④中学校の給食実施は。⑤放課後児童クラブの拡充は。

海外の先進都市などへ留学するための支援を行い、地域社会を支える人材を育てていく視点で検討し、県などに協力を働きかける。

②学校再編の考え方を保護者や地域に丁寧の説明し、再編後も地域力が生かされるよう取り組む。③耐震補強工事の前倒しを検討する。④市内中心部での試行を早期に行い課題などを検証する。給食実施の効果が全ての中学生に及ぶよう早期の完全実施に向け取り組む。⑤平成31年度までに量的拡充や質的向上を図る。



大田 祐介
水曜会
(50分)

福山城築城400年記念事業への取り組みは

問 特に再建から50年を経た鉄筋コンクリート製の復興天守閣の今後の活用見通しは。

この中で石垣の修復や樹木整備による景観の復元など、築城400年までに行う整備と、その後の長期的な整備の在り方についても示したい。

特に築城400年に向けた天守閣の活用の在り方については、まず天守閣などの耐震診断を行った上で、今後の具体について検討する。全国に福山城の歴史が持つ魅力を発信できるよう全庁体制でハード、ソフトの両面から記念事業に取り組み、築城400年を盛り上げていきたい。